



EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。



カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(23)

活動日時 2019年12月11日(水) – 12月24日(火)

活動従事者 桑山尚司, 大坂遊 (教育研究推進員), 守谷富士彦 (教育研究推進員), 草原和博, 徳山博一 (広島県教育委員会事務局教育部・指導主事), 西川京子 (福山平成大学)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター(EVRI)」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会(提案自治体:広島県)が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に専門家の派遣で協力しています。12月11日-24日に、EVRIメンバーの桑山・大坂・守谷と、徳山博一指導主事(広島県教育委員会), 西川京子准教授(福山平成大学)がカンボジア現地へ渡航し研修を実施しました。

今回の目的は、新社会科シラバスに基づきモデル教科書を活用したモデル授業の開発と発信を行うこと、その際にカンボジア教科書開発者が指導助言者となり、自律的な教師教育者への成長に向けてコンサルティングをすることです。

11日から授業研究日にかけて、現地のカンボジア人指導助言者や学校教員とともに、小学校4年生地理「各地域の土地の利用」(西川

担当), 中学校1年生地理「熱帯地域の農家世界」(徳山担当), 中学校3年生公民道徳「民主主義の認識」(徳山担当)の授業開発に取り組みました。それぞれの単元について、新モデル教科書を活用した授業プランを学校教員が提案し、カンボジア指導助言者がコンサルティングをする様子を見守りながら、協議すべきポイントや協議方法について補足をし、授業改善を進めました。

19日と20日は、大坂がファシリテートしながら、「新シラバスの理念・目標を達成する授業づくりを行うための指導助言はどうすればよいか」と「よりよい社会科授業を実現する新シラバス・教科書開発のポイント」という題目で、教育関係部局にワークショップを実施しました。学校現場で新カリキュラムや教科シラバスを実施するための方策を、指導助言者の役割、事業で開発中のマニュアルの活用法などから協議し、活発に議論を行いました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp

EVRI HP/Facebook

